

## [中小零細規模事業場集団リスクアセスメント研修事業]

### 趣旨目的

災害発生率の高い 50 人未満中小規模事業場に対するリスクアセスメントの支援強化が課題  
労働政策審議会労使双方から支援強化の要望

中小規模事業場はリスクアセスメントを適切に実施できるノウハウ、人材が不十分

災害発生率の高い業種の中小規模事業場集団を選定、リスクアセスメント実践研修実施

事業場内でリスクアセスメントを自律的に実施できる人材を育成

中小規模事業場における労働安全衛生水準の向上

### 事業概要

災害多発業種の中小規模事業場集団選定基準を各労働局に提示（2，3月） [本省]

- リスクアセスメント努力義務業種のうち、災害多発業種を中心に労働者数 50 人未満規模の事業場の割合が高い工業団地、業種別協議会組織等を対象集団とする。

災害多発業種中小規模事業場が多数抱える集団を選定（3～6月） [労働局]

- 全国 90 集団選定 [災害発生件数、災害減少率等に応じ、各局 1～5 集団]
- 1 集団当たり 30 以内の事業場数の参加を目安とし、管内の災害発生状況から取組効果の見込める集団を選定

### [受託事業者の実施事項]

#### 1. 研修準備（6～7月）

- ① 講師選定：労働安全（衛生）コンサルタント等の資格を有する者から選定
- ② 研修会テキスト準備：23年度事業で作成したテキストに共通的演習課題を追加
- ③ 日程、会場調整、受講事業場参加勧奨等：対象集団と連絡調整の上進める。

#### 2. 研修の実施（8～1月）

- (1) リスクアセスメントの進め方の基本となる座学研修（3時間30分）（90回）  
次回までに①RAの実施体制整備、②委員会等で審議、③作業現場でRA実施の依頼
- (2) 発表、演習を中心としたリスクアセスメントの実践研修（4時間）（270回）  
→参加者を10人以内の小集団に分けて、事例発表、演習等の実践研修実施

#### 3. 研修結果のとりまとめ（1～2月）

- ① 好事例を中心とした事例報告書作成
- ② アンケート結果とりまとめ

好事例報告書を中小零細規模事業場への集団指導、個別指導に活用 [労働局]